



生活

不登校児支援でセミナー

親子・行政・学校の連携訴える

22日、福岡

不登校や引きこもりに悩む親子を支援するため、関係者がどう連携したらいいかについて考える「不登校・引きこもり支援ネット構築セミナー」が22日午後6時から、福岡県春日市のクローバープラザである。

不登校や引きこもりに悩む親子から相談を受け、支援活動をしている「ふぉーらむ北辰」の中光雅紀さんによると、支援のために

1町同研連絡協議会」も共催して、セミナーを開くことになった。セミナーの主催は「ふぉーらむ北辰」など13の民間団体が加入しているNPO法人「福岡青少年センター」。

この問題について03年2月から「サポートネット」を作って活動している熊本県八代市から、青少年育成センター相談員中島昭二さんを講師に招き、活動の内容などを報告してもらう。問い合わせはふぉーらむ北辰(0120・870・996)へ。入場無料。

不登校・引きこもり問題

日韓の支援者らが交流

19日、福岡

福岡県や熊本県で不登校や引きこもりに悩む親子から相談を受け、支援活動をしている「ふぉーらむ北辰」と、韓国の釜山YMCAで青少年の指導をしている人たちが19日、福岡県大野城市で交流会を開き、不登校や引きこもりについて話し合った。在日韓国人で、韓国に留学した経験の

ある福岡教育大学の金泰泳・助教(社会教育学)が仲介した。北辰代表の中光雅紀さんが、引きこもりへの対応について具体例をあげて説明した。中学2年の時から6年間、不登校・引きこもりをした青年の証言を紹介。直接のきっかけ以外に、必ずその背景としての家庭内

の問題があること、引きこもりから抜け出すためには、社会へ適応させるための訓練期間が必要であることなどを説明した。釜山からの参加者たちからは、カウンセリングの仕事や、再発することはないかなどの質問が出た。その後、今後も交流をしていきたいとの話がでた。金助教によれば、韓国では現在、不登校や引きこもりの問題は顕在化していない。しかし、ないわけではなく、いずれ問題になるだろうと話していた。



生活